



# くらはし

舞鶴市立倉梯小学校

学校だより

令和6年4月22日

No 2

## 言葉を広げる

新年度が始まり2週間が過ぎました。今年度は全ての教科書が改訂され、国語科でもお話が入れ替えになっているものがあります。その中で5年生の「銀色の裏地」という新しい教材が目にとまりました。なかよし3人組がクラス替えて1人と2人に分かれてしまい、1人になった主人公の心情の変化を空の描写や新しい友達との会話の中から読み取っていくという教材です。「銀色の裏地」とは「厚い雨雲の裏側は太陽に照らされて輝いている」という意味でした。作者の石井睦美さんは「くすんだ空を見上げてその輝きを見つけるには、想像する力が必要です。この『銀色の裏地』には想像する力を信頼し、想像する喜びを知ってほしいという私の思いを、祈りを込めて書きました、」とホームページで作品への思いを述べておられます。黒板の表題を見ただけで引き込まれたのは、表題から石井さんの祈りを感じたのかもしれませんが。

また、先日行われた全国学力・学習状況調査の国語科の設問にあった「オニグモじいさんの朝ごはん」（松井スーザン作）も、問題を解きながらお話の内容に引き込まれました。散歩中のオニグモじいさんの所にやってきた小さなハエの女の子の素直さとあどけなさに「自分はハエのような生き物を食べているんだ」と言えなくて「くもの巣についた朝日の光を食べている」と説明し、「早くお帰り」と諭してあげるのです。一人になったオニグモじいさんが自分のくもの巣の朝露の光の粒を食べてみるというラストは問題を解いていることを忘れるほど引き込まれてしまいました。

今年度、本校は様々な取組が評価され「令和6年度 子供の読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰」を受けました。長い間図書ボランティアの皆様にお世話になりながら様々な取組をしていただいたことやPTAや地域の皆様にお世話になり、アルミ缶回収で図書を購入していただいていることなど多くの皆様にお世話になっての受賞であると改めて感謝しております。言葉をしっかり読み取る力は判断力に繋がり、判断力は命を守ります。子ども達と言葉との出会いはいろいろなところに準備されています。言葉を広げ想像力を豊かにした、優しくたくましい倉梯っ子を育てていきたいと受賞を機に心を新たにしました。

校長 亀井 貴子

### 5月「遊びを通してたくましく」（今年度は体づくりをテーマに紹介します）

とある昼休みの光景です。よく晴れた日の運動場は元気に遊ぶ子どもたちでいっぱいです。校舎改修期間のため通常の半分以下となっている運動場ですが、子どもたちは汗だくになって鬼ごっこを楽しんでいました。

ダッシュで追いかけたり、ステップよくかわしたりといった鬼ごっこの動きは実は陸上競技に通じるものが多く、練習でも多く取り入れられているほどです。立派なトレーニング設備はなくても、子どもたちは友達と遊びながら知らぬ間に体力をつけていきます。これからよい気候になっていくので、さらに運動場が活気付いていくことを楽しみにしています。



**小中一貫コーナー 「輝け青葉！」** このコーナーでは小中一貫教育で目指す「挨拶・時間・美化・モラル」に関わる姿を発信します。



### 今日の1番

0419 きれいなロッカーがさらにきれいな！

教室のロッカーが個人ロッカーになり、広くなったと同時にゆとりができてランドセルの置き方も様々。けれど、この学級は持ち物がとてもきれいにそろえられています。なんと1年生。今日の1番きれいです。新しいランドセルを大切にしているのが伝わります。学校も大切にしてくれてありがとう。

### ホームページ情報

- ・離任式 4/3
- ・着任式・始業式 4/8
- ・入学式 4/10
- ・6年生 委員会 4/12
- ・5年生 理科専科 4/15
- ・火災想定避難訓練 4/17

その他にも各学年の様子を随時発信しています。

